

競技要項

1. 試合方法

☆Aグループ

全試合対戦表の左側を仮ホームチームとし、本部席から向かって左側のベンチに入ること。

試合でのホームチーム・ビジターチームは、試合前のパケットスにて決定する。

*1・2回戦までは、トーナメント方式で試合を行う。

*2回戦勝利チームは、決勝リーグ戦に臨み最終順位を決定する。

*2回戦敗退チームは、5位から8位決定トーナメント戦に臨み最終順位を決定する。

*1回戦敗退チームは2つのブロック（E・F）に分かれてリーグ戦を行う。

その後、9位から14位の決定戦に臨む。

第3ピリオド終了時、同点の場合、**両チーム5名**ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト（以下 PSS）により勝敗を決定する。（**今大会より両サイドを使用して行う**）

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつの PSS により勝敗を決定する。

PSS の先攻・後攻の選択権は、パケットスにおいて決定する。

但し、決勝リーグ戦で第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3対3のサドンデス方式による正味5分間の延長ピリオドを行う。

尚且つ同点の場合は、**両チーム5名**ずつの PSS により勝敗を決定する。

さらに同点の場合は**サドンデス**方式による両チーム1名ずつの PSS により勝敗を決定する。

☆B/Cグループ

トーナメント方式で試合を行う。敗戦チームによる順位決定戦も実施する。

全試合対戦表の左側を仮ホームチームとし、本部席から向かって左側のベンチに入ること。

試合でのホーム・ビジターチームは、試合前のパケットスにて決定する。

2. 決勝リーグ・1回戦敗退リーグ戦での勝ち点及び順位決定方法について

レギュラータイム勝ち、3点 / 延長・PSS 勝ち、2点 / 延長・PSS 負け、1点 /
レギュラータイム負け、0点

にて最終順位を決定する。

	RT勝	延長・PSS勝	延長・PSS負	RT負
勝ち点	3	2	1	0

さらに決しない場合は、下記により順位を決定する。

- ① レギュラータイムの勝数の多い順
- ② 当該校の対戦成績の勝点の大なるもの
- ③ **当該校同士の得点の大なるもの**
- ④ 当該校同士の得失点差の大なるもの
- ⑤ **順位決定リーグ内の得点の大なるもの**

- ⑥ 順位決定リーグ内の得失点差の大なるもの
- ⑦ 全試合（リーグ戦+トーナメント1試合）での得点の大なるもの
- ⑧ 全試合（リーグ戦+トーナメント1試合）での得失点差の大なるもの
- ⑨ 2020年度ランキング上位のもの

3. 試合時間（練習終了後、製氷があります）

*練習（試合）は、前の試合が終わり次第、順次時間を繰り上げて開始する。（最大30分）

Aグループ 練習10分 正味20分×3P 各ピリオド間インターバル 約12分

Bグループ 練習7分 正味15分×3P インターバル 1P-2P間5分 2P-3P間 約12分

☆各グループの試合で、10点以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとする。

①点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。

②次の場合は時計を一旦止める。

a)得点時。（レフェリーが本部に報告し電光掲示板入力を確認され次第直ちにスタートする）

b)反則発生時。（次のフェイスオフでパックがドロップ後スタートする）

c)タイムアウト。（アナウンスと同時に止め終了ブザーと同時にスタートする）

③反則時間終了時にプレイが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティボックス内から出てはならない。

4. 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則ならびに（公財）日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

5. 補助規則（今大会東京都アイスホッケー連盟が定めるローカルルール）

1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。

2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。

3) プレイヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクを着用しなければならない。

バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。

4) プレイヤーはマウスガードを着用する。

（試合中の不正な着用は警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す）

5) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。

試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を確認する。

試合中、正しく防具を着用していないプレイヤーに対しては、警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す。「お守り」は防具の内側に縫い付けること。それ以外のアクセサリ等の着用は認めない。

尚、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。

6) 練習中については、ゲーム・スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し是正させる。

7) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りすること。（役員はIDを着用しなければベンチ入り出来ない）役員不在の場合は試合放棄とし不戦敗（スコアは0対15）とする。

役員とは大会要項 13 のチーム役員登録された者を指す。

※学生は役員として登録することはできない。

- 8) ベンチには GT2 名・プレイヤー20 名の計 22 名、役員 6 名までが入れる。
尚、外国籍を有する選手は 3 名以内とする。
- 9) タイムアウトは全グループの全試合、各チーム 1 回使用できるものとする。
- 10) **オールメンバー表 (検温チェック表)・オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し
試合 (オフィシャル当番) の当日、入場時に提出すること。**
- 11) 試合当日 (試合開始時) 試合を遂行するのに必要な最低人数 (GT1 名とスケーター5 名) に満たない
チームは、その試合を放棄したものとみなし不戦敗(スコアは 0 対 15)とする。
- 12) 仮ホームチームは、本部席より向かって左側のベンチに入ること。
- 13) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。但し、対戦する両チームのユニフォームが同系色
の場合は、仮ホームチームがユニフォームを着替える責任を有する。
- 14) ホーム・ビジター制度は、全グループ・全試合において適用する。ホームチームの決定は、試合開始前
のバックスにより決定する。その際、仮ホームチームがバックスの表裏を選択できるものとする。
- 15) スティック及び用具の計測は、1 試合につき各チームそれぞれ 1 回のみ要求できる。
- 16) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、両チームが同時にならな
いよう出入り口に近いベンチのチームから先に速やかに退場すること。
尚、後のチーム (氷上にいる選手) は、一度自チームのベンチに戻りレフェリーの指示により退場する
こと。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームベンチに戻らない場合はペ
ンチマイナー・ペナルティを科す。
- 17) ベンチドアマンの取り扱い
 - ① 当日の試合に出場しないが選手登録をされている学生 2 名以内をベンチドアマンとして置くことが出
来る。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載すること。ただし、役員 6 名には含まれない。
 - ②ベンチドアマンは、危険防止のためフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。
試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、
その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ (ベンチマイナー) は科せられない。
- 18) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止する。**コーチングの目的にのみ電子機器の使用を認める。**
- 19) ベンチ入りする学生スタッフ (マネージャー・トレーナー) は危険防止のためフルフェイス・マスクの
付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者を
ベンチから退場させる。ただし、ペナルティ (ベンチマイナー) は科せられない。
- 20) 第 2 ピリオド・第 3 ピリオド開始時は、ファーストセットのみ氷上に上がること。
- 21) **申請した登録と試合当日の背番号に変更がある際は、オールメンバー表提出時、競技役員 (大会運営
委員長・GSV・スコアラー等) に報告すること。**
- 22) **ユニフォームの名前を隠す際は、同系色の布を縫い付けること。(基本テープ使用は不可)**
- 23) **ユニフォームの裾は、パンツにしまわず外に出し、できる限りタイダウン・ストラップ (ユニフォーム
とパンツをつなぐストラップ) でパンツに密着させなければならない。
(今大会は猶予期間とし次回大会より厳密にチェックする)**

注意事項

* 事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟規約違反・JHIF リスペクト憲章に反する行為をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。

* 試合前練習の際、終了ブザー後にシュートを打った選手は、その試合の出場資格を失う。

* ペナルティベンチ内では、ペナルティ終了 30 秒前まで座っていること。また味方への応援を含む一切の私語を禁止する。(上記については、オンアイスレフェリー以外が別途処分を科すことがある)

☆ 特別ルール

競技要項

1. 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。
一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。
2. パックトスは、ソーシャルディスタンスを保ち行うこと。
3. レフェリーその他競技役員との握手は一切行わない。選手同士も禁止する。
4. ベンチ内において、スタッフ（部長・監督・コーチ・トレーナー）は、飛沫飛散防止のため不織布マスクを着用すること。またドアマンなどベンチ入りする学生はフルフェイスの中に飛沫飛散防止のため不織布マスクを着用すること。
5. ウォーターボトル、タオルは共有しないこと。

以下の項目は、2020 年 7 月 29 日に JHIF から発出された通達に準ずる。(以下、要約文として記載)

6. ペナルティアテンダントについて・・・得点時は自らドアを開けて出ていくこと。
7. 試合中のベンチ内選手について・・・交代選手以外は座っていること。
8. 試合中断時のパックの扱いについて・・・中断時にはパックに触れないこと。
GK はキャッチしたらリンク上に置くこと。

その他

- ・施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受けること。
- ・施設内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること。(控室など着替え場所及びミーティング場所・トイレ使用の際・ウォームアップ時においても着用すること)
- ・指定エリア（控室・着替え場所・トイレ・アップ場所）以外への立ち入りを禁止する。
- ・試合終了後、ベンチ内清掃（アルコール消毒）を行うこと。(連盟役員の手指示に従って実施)
- ・控室・ベンチ内を除く施設内において、選手の水分（栄養）補給以外は飲食禁止とする。
- ・ゴミはチーム各位で持ち帰ること。(施設内のゴミ箱は使用不可)
- ・試合終了後 30 分以内に退場すること。

* 新型コロナウイルス感染症防止対策等の社会情勢により、大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。

<緊急連絡先>

第 1 連絡先 大会運営委員長 横川（学生事業委員長）携帯：090-8507-9867

第 2 連絡先 運営副委員長 松本（専務理事）携帯：090-3345-2412